

南部牛追唄発祥の地 岩泉に唄う

険しい奥の

深山を越え

盛岡へと

塩の道を歩む

牛追いと

南部牛の哀愁が

今よみがえる



令和5年度 第35回南部牛追唄全国大会開催要領（抜粋）

1 目的

「南部牛追唄」は、岩泉地方において藩政時代から沿岸で産出された塩や海産物を南部藩の城下町である盛岡へ運ぶ道中、牛方たちによって唄い継がれてきたものであり、その後広く全国で愛唱されてきている。

この「南部牛追唄」発祥の地、岩手県岩泉町において「南部牛追唄全国大会」を開催し「南部牛追唄」の普及向上に努めるとともに、観光の振興を図ることを目的とする。

2 主催

南部牛追唄全国大会実行委員会

3 実行委員会の構成団体

岩泉町、岩手県民謡協会、(一社)岩泉町観光協会、岩泉商工会、新岩手農業協同組合、小本浜漁業協同組合、岩泉町森林組合、岩泉ホールディングス(株)、(株)岩泉総合観光、(株)岩泉きのこ産業、南部牛追唄保存会

4 後援(予定)

岩手県、岩手県教育委員会、(公財)岩手県観光協会、(公財)日本民謡協会、外山早坂高原県立自然公園協会、岩手日報社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

5 開催場所

〒027-0501 岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字松橋21番地1

岩泉町民会館 大ホール 電話 0194 (22) 2111

6 開催日程

| | | | |
|----------|-------|--------------|---------------------------|
| 9月24日（日） | 7：30 | 一般の部 | 受付開始 |
| | 8：15 | 一般の部 | 予選開始 |
| | 10：00 | | 開会式 |
| | 10：30 | 一般の部 | 予選再開 |
| | 10：30 | 70歳以上の部・年少の部 | 受付開始 |
| | 11：30 | 70歳以上の部・年少の部 | 受付終了 |
| | 12：00 | 一般の部 | 予選終了 |
| | | | 休憩、アトラクション① |
| | 12：40 | 年少者の部 | 審査開始 |
| | 13：25 | 年少者の部 | 審査終了 |
| | 13：30 | 一般の部 | 決勝進出者発表 |
| | 13：35 | 70歳以上の部 | 審査開始 |
| | 15：05 | 70歳以上の部 | 審査終了 |
| | | | 休憩 |
| | 15：10 | | 優勝旗返還 |
| | 15：15 | 決勝大会 | 開始 |
| | 15：45 | 決勝大会 | 終了 |
| | 15：45 | | アトラクション② |
| | | | 岩手県民謡協会 |
| | 16：10 | 閉会式 | |
| | | | 講評、審査結果発表・表彰、優勝者「南部牛追唄」披露 |
| | 16：30 | | 全日程終了 |

※上記日程は参加状況により変更となる可能性があります。

7 大会役員

| | | |
|------|--------------------|---------|
| 大会長 | 岩 泉 町 長 | 中 居 健 一 |
| 副大会長 | 岩手県民謡協会長 | 藤 沢 清 美 |
| 〃 | (一社)岩泉町観光協会長 | 八重樫 義一郎 |
| 〃 | 岩 泉 商 工 会 長 | 八重樫 義一郎 |
| 〃 | 新岩手農業協同組合長 | 苅 谷 雅 行 |
| 〃 | 小本浜漁業協同組合長 | 三田地 和 彦 |
| 〃 | 岩 泉 町 森 林 組 合 長 | 畠 山 直 人 |
| 〃 | 岩泉ホールディングス㈱代表取締役社長 | 山 下 欽 也 |
| 〃 | ㈱岩泉総合観光代表取締役社長 | 下 道 勉 |
| 〃 | ㈱岩泉きこの産業代表取締役社長 | 柳 畑 正 勝 |
| 〃 | 南部牛追唄保存会長 | 竹 花 弘 一 |

8 大会審査員（予定）

| | | |
|------------------|-------------|---------|
| 岩手県民謡協会 | 会 長 | 藤 沢 清 美 |
| 岩手県合唱連盟 | 名 誉 会 長 | 太田代 政 男 |
| (公財)日本民謡協会岩手県連合会 | 委 員 長 | 菊 池 マ セ |
| 岩手県民謡協会副会長 | (本大会第二回優勝者) | 中 里 福次郎 |
| 岩 泉 町 教 育 委 員 会 | 教 育 長 | 裊 岩 千 裕 |

9 応募

●出場部門

(1) 一般の部（定員：100名）

対 象：南部牛追唄の愛好者（年齢問わず）。ただし、過去同部門優勝者を除く。

審 査：予選大会、決勝大会

(2) 70歳以上の部（定員：40名）

対 象：南部牛追唄の愛好者で、令和5年4月1日現在で満70歳以上の方。ただし、一般の部の参加者及び過去同部門優勝者を除く。

審 査：決勝大会

(3) 年少者の部（定員：20名）

対 象：南部牛追唄の愛好者で、令和5年4月1日現在で中学生以下の方。ただし、一般の部の参加者及び過去同部門優勝者を除く。

審 査：決勝大会

※各部門とも実行委員会において伴奏者を用意するが、引率伴奏者も可能とする。

●申込期限 令和5年8月25日（金）必着

●申込方法 参加申込書を記入のうえ、申込先にFAXで送付

●申 込 先 南部牛追唄全国大会実行委員会事務局（株IBC岩手放送営業推進部内）

電 話 019（623）3133（平日9：30～17：30）

FAX 019（651）2428

●参 加 料 一般の部、70歳以上の部 3,000円

年少者の部（中学生以下） 1,000円

●納入方法 郵便振込とし、振込手数料は本人負担とする。

※申込者本人の都合による参加料の返金については、令和5年8月25日（金）連絡分までとする。なお、それ以降の欠場者については、参加賞を後日送付する。

【口座番号：02330-7-20706】

【加入者名：南部牛追唄全国大会実行委員会】

●郵便振替締切日 令和5年8月25日（金）

10 審査結果の公表

(1) 「一般の部」予選出場者全員の点数を出場順に公表する。また、「一般の部」決勝大会進出者を出場順に一覧表で公表する。

(2) 「一般の部」決勝大会、「70歳以上の部」及び「年少者の部」の審査結果は公表しない。ただし、大会終了後に出場者本人（年少の部にあっては、その保護者を含む。）から文書で照会があった場合のみ、その本人の審査結果を郵送により回答する。

11 表彰

○一般の部

| | | |
|-------|-----|-------------------------------|
| 優勝 | 1人 | 賞金10万円、賞状、優勝旗（持ち回り）、優勝杯 副賞 |
| 準優勝 | 1人 | 賞金3万円、賞状、トロフィー 副賞 |
| 優秀賞 | 1人 | 賞金1万円、賞状、トロフィー 副賞 |
| 奨励賞 | 1人 | 賞状、副賞 |
| 決勝進出者 | 15人 | 記念メダル |

○70歳以上の部

| | | |
|------|----|-------------|
| 最優秀賞 | 1人 | 賞状、トロフィー、副賞 |
| 優秀賞 | 1人 | 賞状、トロフィー、副賞 |
| 奨励賞 | 1人 | 賞状、副賞 |

○年少者の部

| | | |
|------|----|-------------|
| 最優秀賞 | 1人 | 賞状、トロフィー、副賞 |
| 優秀賞 | 1人 | 賞状、トロフィー、副賞 |
| 奨励賞 | 1人 | 賞状、副賞 |

○総合の部

| | | |
|---------|------|-------|
| ふるさと会長賞 | 1人 | 賞状 |
| 審査員特別賞 | 3人以内 | 賞状、副賞 |

12 経費の負担

実行委員会構成団体による負担金及び補助金並びに出場者の参加料等をもって運営費に充てる。

13 その他

- (1) 一般公開として、入場料は無料とする。
- (2) 申込書記載の個人情報については、本大会運営に係る目的（参加者名簿及び審査用名簿の作成、事務局からの連絡用、副賞等郵送用等）以外には使用しない。
- (3) 申込書の保管管理は、事務局において行う。
- (4) 本大会の一切を事務局において録音する。録音した内容は、事務局の記録用とするほかIBC岩手放送「民謡まわり舞台」の音源として使用する場合がある。
- (5) 事務局では、本大会の記録用として、写真を撮影する。撮影した写真の一部は、観光パンフレットや広告に使用する場合がある。
- (6) 会場内に「臨時売店（お弁当、焼きもの、飲み物等）」を設置する。（予定）
- (7) 事務局が指示する時刻までに受け付けが無い方は、欠場とみなす場合がある。